

読書活動推進計画 平成29年度取組状況

対象：家庭

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
家庭	「家読(うちどく)」の実践	公民館図書室の広報	各「公民館だより」で、公民館図書室「図書コーナー」の紹介や新刊本の案内により、利用を促進する。	公民館だよりで新刊本の案内を継続。 公民館だより「漆のくに」で新刊本の案内を行ったほか、保育園に子ども用の本の新聞図書のお知らせのチラシを配った。	北公民館 湊公民館
			公民館だよりで新刊案内(今年度2回)を掲載し、周知を図るとともに、おすすめ図書を選定、掲示した。	公民館だよりで新刊案内(今年度2回)を掲載し、周知を図るとともに、おすすめ図書を選定、掲示した。	北会津公民館
			大戸小学校児童等の施設利用時、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	大戸小学校児童等をボランティアとして受け入れ、図書の除籍や整理を経験してもらい、図書の利用を促した。	大戸公民館
			少年教室「小法師の学び舎」の公民館宿泊体験事業内で「ナイトライブラリ」として公民館図書室について紹介し、図書室利用の促進につなげることで読書の機会をつくっていく。	昨年度に引き続き、公民館宿泊体験時に「ナイトライブラリ」を開催した。図書室内の案内とオリジナルおりを製作し、読書への関心を高めた。	南公民館
			門田小学校の「まちたんけん」を受け入れる中で、図書室を案内して利用を呼びかける。	門田小学校2学年の「まちたんけん」を春と秋の二度にわたり受け入れるなかで、図書室を案内し、利用を呼びかけた。	南公民館
			門田小学校の授業の一コマ、「図書室に行ってみよう」で見学を受け入れ利用促進を図った。	門田小学校2学年の見学を受け入れ、図書室の紹介と借り方、返し方などの詳しい紹介を行うことで利用促進に繋げた。	南公民館
			第五中学校の職業体験を受け入れ、公民館の仕事の一部として図書室業務の体験により、図書室の利用促進を呼びかける。	第五中学校2学年の職業体験として2名の生徒を受け入れ、書架整理等の仕事を体験させるとともに図書室の利用促進を呼びかけた。	南公民館
			一箕小学校児童の「公民館訪問見学」を受け入れる中で、公民館図書室を案内し利用を促進する。	小学校の公民館訪問見学に合わせて公民館図書室を案内し、実際に本を手に取り触れてもらうことで、より身近な施設として親しみをもってもらうことにより利用促進につなげた。	一箕公民館
			東山小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	小学校の「公民館見学」にあわせて図書コーナーを案内し、本に対する質問を受けるなどして、本に興味をもってもらうことにより、利用促進につなげた。	東公民館
			永和小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	永和小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかけた。	北公民館
	学校図書室の補完機能としての公民館図書室の利用	門田小学校の調べ学習等の授業の際、学校図書で足りない部分を公民館図書室から貸出し補完した。	南公民館		
	「家読(うちどく)」の実践	「家読」の啓発	年齢や様々な言語に応じた本の収集に努めるとともに、就学前の家庭教育講座や、図書見学、職場体験等の機会をとらえ図書館利用について広報していく。	就学前健診時の家庭教育講座において、保護者に対し図書館の利用や「家読」について広報した。 児童の見学の際には、可能な限り貸出カードの作成を働きかけ自動貸出機での貸出を体験してもらい、新規登録者の増加を図った。 中学生の職場体験や見学の際には、ティーンズコーナーやおすすすめの本・ブックリスト等について広報を図った。 ○見学の受入 ・小学校 18校 ・高等学校 2校 ・幼稚園、こども園 3園 ・公民館・児童センター等 7ヶ所 ○職場体験の受入 ・中学校 6校 ・高等学校 1校 ・短大、大学 2校 各種健康診査時に図書館利用について掲載したブックリストを配付し、利用促進を図った。	生涯学習総合センター
			「家読のススメ」チラシの発行、図書館だよりやあいつこニュース等へ、「家読」記事やおすすすめの本を掲載し、家読の意義や楽しさについて啓発を図る。	家読の記事を掲載した。(あいつこニュース春号・こどもとしよかんだより10月号) 「家読のススメ」第5号を発行した。(平成30年3月)	生涯学習総合センター
	「0歳からの絵本スタート」の実践	公民館図書室の環境整備	子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースのほか、ソファや畳敷きのコーナーを設け、子どもたちや乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	ロビーや図書コーナーの配置を整備し、利用者が入館した際新刊本が目につき易い場所に設置するなど興味を持ち手に取りやすいようにした。 新刊本をブックラックに別置することで、新刊本が分かりやすく、面白い絵本などを面出し興味を喚起した。	大戸公民館
			子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースを確保し、クッションや子ども用の遊具を設置することで、乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	子ども用スペースについては設置済み。 読み聞かせに適した本を「子ども向けおすすめ図書」として選定、掲示した。	北会津公民館
			気軽に本を手にとれるように新刊本や季節の本のディスプレイを行う。また、公民館内の多目的トイレの改修に伴い、オムツ替えシートを設置するなど、お子様連れでも公民館図書室を利用しやすいような環境を整える。	老朽化した図書室の看板をリニューアルして見やすくするとともに、著者順の見出しプレートについても字を大きく見やすく整理を行った。また、新刊本やおすすすめの本についても引き続きディスプレイを行い、手に取りやすい工夫を施した。お子様連れの方には寒い時期などにはホットカーペットを暖をとっていただくなど利用しやすいようにお声かけするなど滞在しやすい図書室づくりに努めた。	南公民館
	「0歳からの絵本スタート」の実践	読書機会の提供	図書館が作成した絵本の年齢別ブックリストを、4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児それぞれの健診会場および、7か月離乳食教室の会場において配布し、読書機会や情報を提供する。	年齢別ブックリストの配布 ・4か月健診会場 100% ・1歳6か月健診会場 100% ・3歳6か月健診会場 100% ・7か月離乳食教室会場 100%	健康増進課 生涯学習総合センター(会津図書館)
			会津図書館から配本される新刊本を、ブックラックに別置し、面白い絵本などを面出し興味を喚起する。	新刊本をブックラックに別置することで、来館者が分かりやすく、手に取りやすくなったため、利用数が増え前年度より増加した。	大戸公民館
			4か月健診時に乳児と保護者を対象とした、絵本の読み聞かせとともに絵本等を手渡すブックスタート事業を実施し、子育てにおける読み聞かせの重要性の啓発や、子どもの心と言葉の発達等の育成支援、また、家庭で絵本を介した豊かな時間をもつことで安心して子育てができる環境づくりの一助とする。	○対象者 平成29年度市が実施する、4か月児健康診査時において、本市に住所を有する乳幼児及びその保護者 ○実施日・会場 4か月児健康診査を実施する日に北会津保健センター及び河東保健センター等で行う ○内容 ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの心地よさ、乳児期からの読み聞かせの大切さなどを保護者に伝えるとともに、絵本やガイドブックなどの入った「ブックスタートパック」の配付を行った。 ※読み聞かせを行う読書活動支援ボランティアの確保のため、こども家庭課を通じてファミサポへ募集のチラシ配布を行った結果、2名の方がボランティア登録された。	こども家庭課 健康増進課 生涯学習総合センター(会津図書館)
	「読書関連イベント」への参加	読み聞かせ(放課後子ども教室事業)	各「放課後子ども教室」事業において、地域の方々の参画を得て、絵本の読み聞かせ、民話等の語りにより、読書機会を提供する。	放課後子ども教室「永和いなほキッズ」において、全39回中6回、民話の語りや紙芝居、絵本の読み聞かせを地域の方々の協力により実施した。	北公民館
各「放課後子ども教室」事業において、地域の方々の参画を得て、絵本の読み聞かせ、民話等の語りにより、読書機会を提供する。			放課後子ども教室のひとつで地域の方からの読み聞かせを実施するとともに、オリジナルおりづくりを行い、読書への関心を高めるべく取り組んだ。	南公民館	
第4回会津図書館を使った調べる学習コンクール		小学生を対象とし、図書館の本を利用して調べる学習に取り組み、まとめた作品を募集する。調べるテーマ探しや、調べ方・まとめ方を学ぶ講座を開催するとともに、学校に対してはテーマ別の「学校支援図書セット」の貸出等支援し、子どもの主体的に学ぼうとする意欲の醸成と、情報を活用する力の養成に取り組む。	・応募作品 54点・受賞作品 18点 市長・市議会議長・教育長賞各3点、佳作9点、学校賞1校。 全国コンクールへの推薦作品2点は、優秀賞・日本児童図書出版協会賞と佳作を受賞 ○推進に向けた取組 ①調べ学習講座 7月 体験コース1回、実践コース2回 調べ学習のテーマ探しや、調べる学習の進め方やまとめ方についての講座を行い、作品作りを行った。 参加者:36名 ②最終審査会 11月1日 ③表彰式・展示会 11月25日 ④大熊町地域コンクールとの合同作品展 3月1日～29日 ※小学校や児童・保護者へ向けた取組により、応募作品の質が向上した。 ※セット貸出利用実績 16回	生涯学習総合センター(会津図書館) 学校教育課	

家庭	「読書関連イベント」への参加	第4回会津プリオバトル(知的書評戦)	中高生を対象とし、本を読んで感じた思いや魅力などを紹介し、発表を聞いて一番読みたかった本に投票することで、読書活動の充実と思考力、表現力の育成とプレゼンテーション能力の向上に取り組む。	開催日：8月11日(金・祝) 対 象：中学生、高校生 発表者：中学生11名、高校生4名 観戦者：49名 決戦では、予戦を勝ち抜いた中学生3名と高校生4名が、おすすめる本を自分の言葉で紹介し、観戦者の「読みたい気持ち」を引き出すための創意工夫があり、論理的思考力やプレゼンテーション能力の向上が図られた。人から紹介されることで今まで知らなかった本を読みたくなったという声も聞かれ、中高生の読書活動の推進が図られた。	生涯学習総合センター(会津図書館)
		読み聞かせ事業	①「おはなし会」「かたりべ会」「赤ちゃんおはなし会」 様々な絵本や語りに触れ合う機会を提供し、物語の楽しさや興味を広げるきっかけをつくる。また、乳幼児向けの「おはなし会」では、絵本を介した親子のふれあいの楽しさを伝える。 ②「季節のおはなし会」 夏・冬・春 絵本や紙芝居の他に、パネルシアターや手遊び、工作など、多様な方法から物語の楽しさを伝え、本への興味を育て、読書へつなげる。 ③「絵本の音楽会」 5月 大きなスクリーンで絵本を見ながら朗読を聞き、併せてオーケストラの演奏を楽しむことで、豊かな時間を提供し、物語や音楽への興味を広げる。 ④「英語のおはなし会」「外国語のおはなしのへや」 日本語以外を母国語とする子どもを中心に、絵本の読み聞かせの楽しさを伝えるとともに、日本の子どもにも異なる文化や言語に触れる機会を提供し、読書への興味を広げる。	①毎月定例のボランティアによるおはなし会を開催。 ・おはなし会(毎日曜日)50回 ・かたりべ会(第2・4土曜日)23回 ・英語のおはなし会(毎月第1日曜日)7回 ②赤ちゃんおはなし会(第1・3木曜日)23回 ③季節のおはなし会 3回開催。 夏 7月22日(土) 参加：53名 冬 12月9日(土) 参加：56名 春 3月3日(土) 参加：71名 ④子どもの読書週間行事『絵本の音楽会』 5月27日開催(参加：178名) スクリーンで絵本の映像を観ながら朗読を聞き、あわせて音楽を楽しむことで、絵本の魅力や物語の楽しさを伝えた。 ⑤共催による「外国語のおはなしのへや」を2回開催。 夏 6月25日(日) 参加：41名 冬 2月25日(日) 参加：36名 おはなし会の開催によって、参加者へ読書の楽しさを伝えた。また、イベントに関連する本の展示や紹介を行うことで、読書への興味を引き出し、貸出の増加につながった。	生涯学習総合センター(会津図書館)

【指標(数値目標)】

(会津図書館調べ)

項 目	現況値(平成26年度)	実績値(平成28年度)	最終目標値(平成32年度)
「0歳からの絵本スタート」の実施割合	59%		70%
「読み聞かせ」実施の割合 園児 保護者	83%		90%
「家読(うちどく)」実施の割合 小学2年生 保護者	42%		60%
家読(うちどく)実施の割合 中学2年生 保護者	19%		40%

※ 現況値については、平成26年度会津図書館実施アンケートによる数値であり、最終目標値に対する実績値については平成31年度アンケート実施による数値となる。

【指標(数値目標)】

(会津図書館調べ)

項 目	現況値(平成26年度)	実績値(平成29年度)	目標値(平成32年度)
子ども(18歳まで)の登録者の割合	34.2%	39.1%	40.0%
児童書の貸出冊数	159,279冊	146,878冊	170,000冊
中高生への貸出冊数	15,110冊	14,632冊	20,000冊

【指標(数値目標)】

(地区公民館調べ)

項 目	現況値(平成26年度)	実績値(平成29年度)	目標値(平成32年度)
子ども(18歳まで)の年間利用人数	1,352人	864人	1,500人
公民館事業で「読み聞かせ」等を取り入れた回数	46回	30回	55回

読書活動推進計画 平成29年度取組状況

対象：保育所・幼稚園・認定こども園等

実施主体	取 組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担 当 課
保育所・認定こども園・幼稚園等	保護者等への「読み聞かせ」や「家読」の重要性の広報啓発	「園だより」等による読書活動の推進	お便りにより、保護者や子育て支援参加者に対し、乳幼児期からの「読み聞かせ」の重要性や楽しさを知らせる。	園だより等で絵本の紹介のほか、園での読み聞かせの様子を紹介したり、家庭での読み聞かせの大切さ等を掲載し、絵本への親しみや読み聞かせの重要性を知らせた。	こども保育課
		「新たな読み聞かせ」の実施	絵本を保育所等と家庭で繰り返し読み聞かせをしていくことで、絵や言葉、内容等、絵本への関心を深め、効果的な読み聞かせを推進する。	絵本の定期購入や園所有の絵本の家庭への貸出、絵本プレゼント等を行い、家庭での読み聞かせを推進した。また、支援が必要な児童に対し、一対一での対応も行った。	こども保育課
		「読み聞かせ講座」広報	保育所等を通じて保護者への「読み聞かせ講座」受講を働きかけ、各保育所等において読み聞かせを実施できるボランティアの育成を図り、読み聞かせの大切さを広報する。	市内幼稚園・保育園へポスターを配布し、講座の周知を行った。	生涯学習総合センター(会津図書館)

【指標(数値目標)】

項 目	現況値(平成26年度)	実績値(平成29年)	目標値(平成32年度)
お便りによる読書活動啓発を1年間に4回以上実施した園の割合	49%	36%	75%

読書活動推進計画 平成29年度取組状況

対象：学校

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
学校	「家読(うちどく)」の広報啓発	「ノーマディア・デー」等における「家読」の推進	「ノーマディア・デー」等における時間を読書に当てることや、家族と「家読」をすることについて、学校関係の会議において奨励する。	中学校区の小・中学校で組織される小中連携会議にて、家庭での過ごし方について共通理解を図り、「ノーマディア・デー」の実施と関連させた「家読」の実施を呼びかけた。	学校教育課
		学校図書館の所蔵冊数の充実	学校図書館用の図書購入費について、各校の学級数等に応じた予算配分を行うほか、年に1回蔵書数調べを実施し、所蔵冊数を把握し、所蔵冊数の充実に取り組む。	学校図書館用の図書購入費について、年度初めに各校の学級数等に応じた予算配分を行った。年度末に各校の所蔵冊数や廃棄状況等を把握するため、蔵書数調べを実施する予定である。	教育総務課
	学校図書館の活用しやすい環境の整備	学校図書館の環境充実	会津図書館奉仕員が小中学校図書館を巡回訪問し、司書教諭等に対し、助言、支援を行う。	小学校19校、中学校11校を訪問。「学校図書管理マニュアル」に則り、司書教諭・学校図書館支援員へ図書室管理の助言・支援を行った。	生涯学習総合センター（会津図書館）
			図書館ボランティア養成講座を開催し、学校図書館で活動できるボランティアを養成する。	5月～6月全3回の講座を開催。資料の分類・排架、修理・整備、書架サインや展示コーナーの作り方について講義と実演を行った。	生涯学習総合センター（会津図書館）
		小中学校に対し、図書館ボランティア養成講座を受講した学校図書館ボランティアの活用を促す。	図書館ボランティア養成講座の受講について、学校に依頼し参加を呼びかけた。その結果、学校図書館ボランティアをはじめ、複数の保護者が研修会に参加し、スキルアップにつなげることができた。	学校教育課	
	学校図書館支援員の配置	学校図書館の充実のため、学校図書館支援員を配置し、読書好きで児童生徒を増やすとともに、言葉や学び、語彙を増やし、感性を磨き、豊かな想像力や表現力、読解力を育む。	4名の学校図書館支援員を市内12校に配置し、1校につき週1回程度の勤務を5月より開始した。本の整理や補修、掲示物の作成を通じ、学校図書館の環境整備に努めてきた。	学校教育課	
	「朝読」活動の充実に向けた取組	読み聞かせタイム	滝小学校において、地域団体「渡かたりべの会」や地域の住民が小学校へ出向き、かたりべや読み聞かせ、紙芝居などの活動を朝に行い、「朝読」の充実に取り組む。	平成29年度から対象を小学校に加えて保育園にも拡大した。毎日小学校1～3年生を対象に朝の時間を利用して月1回ボランティアによる活動が行われている。平成29年度から図書委員会委員への読み聞かせ指導が開始された。(22回実施)	湊公民館
「朝読」の推進		各小中学校への「朝読」の時間確保や、記録カード等を利用した内容の充実に向けた指導を行う。	小学校は、朝の読書時間が確保できるすべての学校で週1回10分程度、中学校においては、すべての学校が毎日10分程度の朝の読書に取り組んでいる。読書記録カードの活用は、小学校68.4%、中学校27.3%である。使用しない理由としては、「感想を書くことが負担となる」「感想を記入する時間の確保が難しい」との回答が多い状況である。	学校教育課	

【指標（数値目標）】

項目	現況値（平成26年度）	実績値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
小中学生の1か月間の平均読書冊数	小学生 11.6冊 中学生 2.6冊	小学生 10.0冊 中学生 2.8冊	小学生 14.0冊 中学生 4.0冊
学校図書館図書標準を達成している学校数	小学校 12/19 中学校 7/11	小学校 16/19 中学校 7/11	小学校 15/19 中学校 10/11
図書館ボランティアが参画している学校数	小学校 9/19 中学校 1/11	小学校 16/19 中学校 4/11	小学校 4/19 中学校 6/11

読書活動推進計画 平成29年度取組状況

対象：支援を必要とする子ども・家族

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
障がい児通所施設・支援学校等	「家読(うちどく)」の広報啓発	「家読」の啓発	「家読のススメ」チラシの発行、図書館だよりやあいづっこニュース等への「家読」記事や、おすすめの本を掲載し、「家読」の意義や楽しさについて啓発を図る。	2017年あいづっこニュース春号、こどもとしゃかんだより10月号へ、「家読」の記事を掲載した。また、「家読のススメ」第5号を3月に発行。	生涯学習総合センター（会津図書館）
		一人ひとりに合った「読み聞かせ講座」等の実施	通所施設を通じて保護者やボランティアへの「読み聞かせ講座」受講を働きかけ、地域において読み聞かせを実施できるボランティアを育成し、活用することで、読み聞かせの機会を提供する。	通所施設へポスターとチラシ、会津支援学校・聴覚支援学校会津校へポスターを配布し、講座の周知を行った。	生涯学習総合センター（会津図書館）
	連携による読書活動の推進	情報交換によるニーズ把握	障がい児通所施設やその利用者の読書に対するニーズを把握し、図書館へ情報提供をしていく。	施設に対して要望等がある場合はご相談いただくよう案内しているが、今年度は新たな要望等は聞かれなかった。	こども家庭課
		図書館情報の発信	①通所施設等に対し、図書館等の利用や絵本や紙芝居の貸出等について広報していく。 ②通所施設等の利用者に対し、通所施設等を通して、会津図書館利用案内や子ども向けイベント等の情報を発信し、図書館情報を広報する。	こども家庭課では、①②ともに、今年度は周知の機会が少なかつたため十分な広報は実施できなかった。 図書館では、①②ともに、チラシを配布し広報した。 見学受入：特別支援学校1回他、会津支援学校より見学申込があったが実施には至らなかった。	こども家庭課 生涯学習総合センター（会津図書館）
		障がいのある子どもを対象とした「おはなし会」の開催	通所施設等と連携し、おはなし会を開催する。	通所施設等事業所からは今年度申込がなかった。 特別支援学校児童に対して1回実施 会津支援学校から図書館見学の申込があったが、実現に至らなかった。	生涯学習総合センター（会津図書館）
支援学校等への移動図書館の運行	県立会津支援学校や県立聴覚支援学校会津校へ月1回移動図書館を運行し、児童生徒に対し読書の機会を提供する。	移動図書館利用計画に則り、29年度は8回運行を実施した。(8月、1～3月除く)	生涯学習総合センター（会津図書館）		

【指標（数値目標）】

(会津図書館調べ)

項目	現況値（平成26年度）	実績値（平成29年度）	最終目標値（平成32年度）	説明
障がいのある子どもを対象としたおはなし会開催回数	0回	1回	年間6回	図書館等におけるおはなし会の開催回数
子どもと保護者が一緒に読書をした(家読の)割合	51%	平成31年度にアンケートを実施	60%	家庭で子どもと保護者が読書を楽しんだか